

番 号 : 140352
 国 名 : キルギス
 担当部署 : 農村開発部畑作地帯課
 案件名 : 輸出のための野菜種子生産振興プロジェクト (研修運営管理)

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 研修運営管理
- (2) 格 付 : 3 ~ 4号
- (3) 業務の種類 : 専門家業務

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2014年6月中旬から2014年11月中旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0.30M/M、現地 4.00M/M、合計 4.30M/M
- (3) 業務日数 :

準備期間	現地調査期間	整理期間
4日	120日	2日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 6月4日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出又は
 郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)(いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細については JICA ホームページ (ホーム>JICA について>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」 (http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html)) をご覧ください。なお、JICA 本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等 :
 - ア 業務実施の基本方針 16点
 - イ 業務実施上のバックアップ体制等 4点
 - (2) 業務従事予定者の経験・能力等 :
 - ア 類似業務の経験 40点
 - イ 対象国又は同類似地域での業務経験 8点
 - ウ 語学力 16点
 - エ その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務	研修に係る各種業務
対象国/類似地域	キルギス/全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 : 特になし
- (2) 必要予防接種 : なし

6. 業務の背景

キルギスにおいて農業はGDPの22%(2011年)を占め、人口の5割が従事する基幹産業である。乾燥した気候と山岳地帯の積雪による安定した水源を有するキルギスは、種子生産に適した環境が整っていることから、種子の供給基地として発展していた。しかしその後、1991年に旧ソ連崩壊に伴い大規模集団農場制度が解体され、農地の私有化により小農化が進み、農業技術の更新や普及システムの整備が十分に行われず、農業生産性が著しく後退した。種子生産においても国内生産の種子品質は低下、生産量は旧ソ連時代の100分の1以下になり、現在種子調達には海外から輸入に頼っている。

キルギス政府は2011年から2015年の「農業開発新戦略」において農産品・農産加工品の輸出促進を掲げる方針の下、国内の種子生産の振興、特に今後キルギスの農業分野における有力な輸出産品となる野菜種子の生産と輸出促進を掲げている。他方、2000年には民間の種子生産者によりキルギス種苗協会が設立され、海外からの生産ニーズを含む種子産業関連の情報が収集できる民主導の体制が整いつつある。また、キルギスはドナーによる支援を受けて種子検査に必要な機材・インフラを整備し、国際的な種子検査認証機関であるISTA(International Seed Testing Association)のメンバーとして、認定資格のオレンジサーティフィケート(Orange International Seed Lots certificates)を取得し、種子の国際取引を行うための検査体制を一定程度整えている。旧CIS諸国で、気候・環境、民間主導の体制、輸出資格等の条件を揃えた国は少なく、将来の高品質の野菜種子生産拠点として海外企業から注目を集めつつある。しかしながら、生産者サイドの種子生産技術及び体制の未整備と人材不足、輸出を担う企業のノウハウ不足、野菜種子生産に係る検査実績の不足により、優良野菜種子の生産と輸出は、まだ十分な実績を出すには至っていない。

このような状況の中、キルギス政府は農業土地改良省及びキルギス種苗協会を主たるカウンターパート(以下C/P)機関とし、輸出を目的とする優良野菜種子を生産できる企業及び農家を育成する体制を構築、強化するための技術協力「輸出のための野菜種子生産振興プロジェクト(以下、プロジェクト)」を我が国に要請し、2013年6月の長期専門家2名の派遣により、プロジェクトが開始された。

プロジェクト開始の約1年後の2014年5月からは種子生産技術の向上に向け、プロジェクトの主要活動である指導者人材育成のためのTraining of Trainers(TOT)を開始する計画であり、研修カリキュラムの作成、研修実施を担うローカルコンサルタントの調達、研修内容の検討、施設整備等の準備作業及び研修候補者の選定作業が進められている。

7. 業務の内容

本業務従事者は、現在派遣中の長期専門家(3名)「チーフアドバイザー」「野菜種子生産」、「業務調整/研修計画」専門家及びTOT研修を委託する予定のローカルコンサルタント、キルギス側C/Pと協力し、2014年5月下旬から実施中のTOTが円滑に企画・運営され、結果が次年度以降のTOT計画に反映されるよう、運営管理業務の遂行及び改善案の提案を目的とする。

具体的な業務内容は以下のとおりです。

(1) 国内準備期間(2014年6月下旬)

- ア 既存の文献及び統計情報などを基に、プロジェクト計画及び進捗状況を俯瞰し、把握する。
- イ 現地派遣期間に実施すべき業務の計画をワークプラン(英文)に取りまとめ、監督職員に説明を行う。

(2) 現地派遣期間(2014年6月下旬～2014年10月下旬)

- ① 現地派遣期間のワークプランを JICAキルギス事務所及びキルギス側C/P機関に説明し、業務計画を確認する。
- ② 年間スケジュールに基づき、研修の進捗を管理する。
- ③ 講義内容及び研修期間中の研修生の能力向上度をモニタリングし、研修効果向上の観点から改善に向けた助言を与える。
- ④ 研修に用いる教材が受講する側のレベルに即して適切なレベル、体裁・構成内容となっ

ているか、研修生のヒアリング等を通じて改善事項を整理する。

- ⑤ プロジェクト専門家及びローカルコンサルタントと共に、TOT研修の評価・総括を行い、次期TOT研修におけるカリキュラム構成、教材、その他アレンジにかかる改善案を提示する。
- ⑥ 活動結果を現地業務結果報告書（英文）に取りまとめ、JICAキルギス事務所及びキルギス側C/P機関に提出・報告する。

(3) 帰国後整理期間（2014年10月下旬～11月上旬）

- ア 専門家業務完了報告書を取りまとめる。
- イ 帰国報告会に出席し、担当分野に係る活動結果を報告する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（3）専門家業務完了報告書とする。

- (1) ワークプラン（英文3部：農村開発部、キルギス事務所、キルギス側C/P機関）
現地派遣期間中に実施する業務内容を関係者と共有するために作成。業務の具体的内容（案）などを記載。
- (2) 現地業務結果報告書（英文3部：農村開発部、キルギス事務所、キルギス側C/P機関）
記載項目は以下のとおり。
 - ①業務の具体的内容
 - ②業務の達成状況
- (3) 専門家業務完了報告書（和文各2部：農村開発部、キルギス事務所）
記載項目は以下のとおり。
 - ①業務の具体的内容
 - ②業務の達成状況
 - ③業務実施上遭遇した課題とその対処
 - ④プロジェクト実施上での残された課題

9. 見積書作成に係る留意点

本公示にかかる見積書の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成ガイドライン」（<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>）を参照願います。

留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積書に計上して下さい）。
航空経路は、成田⇒イスタンブール⇒ビシュケク⇒イスタンブール⇒成田を標準とします。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

①現地業務日程

現地派遣期間は2014年6月25日～10月22日を予定していますが、ある程度の日程調整は可能です。

②現地での業務体制

本業務に係る現地プロジェクトチームの構成は、以下のとおりです（本業務の現地作業期間に派遣されている専門家のみ記載しています）。

- ・チーフアドバイザー（長期派遣専門家）
- ・業務調整／研修計画（長期派遣専門家）
- ・野菜生産種子（長期派遣専門家）

③便宜供与内容

プロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎
あり
- イ) 宿舎手配
あり
- ウ) 車両借上げ
あり
- エ) 通訳備上
あり（英語-ロシア語）
- オ) 現地日程のアレンジ
プロジェクトチームが必要に応じアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供
農業土地改良省内プロジェクトオフィスにおける執務スペース提供（ネット環境完備）

(2) 参考資料

本業務に関する以下の資料が当機構のウェブサイトで公開されています。

- ・プロジェクト基本情報：
<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/11964ab4b26187f649256bf300087d03/dae4306c5271d2a649257b1a0079d40d?OpenDocument>
- ・プロジェクト詳細計画調査報告書：
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000010658.html>

(3) その他

業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

以上